

事業所名

ひよこすぽーつ塾

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

24日

法人（事業所）理念		子どもたちの今と未来を見据えた支援を行う。	
支援方針		児童発達支援の提供に当たっては、利用者が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適應することができるよう、事業所において、適切かつ効果的な指導訓練を行うものとする。 放課後等デイサービスの提供に当たっては、利用者が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流が図ることができるよう、事業所において、適切かつ効果的な指導訓練を行うものとする。 指定児童発達支援、指定放課後等デイサービスの実地に当たっては、障害児の保護者の必要な時に必要な指定児童発達支援、指定放課後等デイサービスの提供ができるよう努めるものとする。 全三項のほか、法及び「児童福祉法に基づき指定通所支援の事業の人員、設備及び運営に関する基準」に定める内容のほか関係法令等を遵守し、指定児童発達支援、指定放課後等デイサービスを実施するものとする。	
営業時間		月曜日～金曜日：13:00～19:00 土曜日、祝日：9:00～15:00	送迎実施の有無 あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	服に印をつける等して、自分で服の置き方を整えられるようにする。自分で衣服の着脱ができる身体の細かな動かし方を習得できるよう伝え、練習する。 トイレが出たタイミングで声をかけ、自分で伝えられるよう促す。様子、または時間を見計らい声をかけながら自分で気づくことを促す。 自分で尿意を感じた際に移動をする場所を先に決めておくことで移動をスムーズにする。手遊びからスムーズに移行をして持つ方を整えられるようにする。 手の動き、お着を伝える楽しさを感じられるように、できたことを実感できるものを選んでいく。補助をしながら手の動きを細かに練習しつつ、一人でできる範囲を広げていく。 言える雰囲気、言葉かけのフォローをする。スモールステップを組んで、褒め方の工夫をする。トークンなどの提案をしながら児童のやる気維持を支援する。	
	運動・感覚	バランスボールなどを活用し、タイミングがつかめるようにしつつ、自信が持てる声掛けをする。 遊び感覚でできるように工夫をする。スモールステップで体の動かし方の練習補助をする。 指の使い方を補助しつつ、徐々に一人でできるように移行させる。腕、手の動作を補助しつつ、身体を動かすことが楽しいことであることを一番に伝えていく。 目の使い方練習を補助する。粗大運動の苦手な部分の補助をしつつ、少しずつ一人でできるように促す。	
	認知・行動	カードなどの補助道具を使いながら自分を視覚、または聴覚など本人が得意とすることを軸に把握できるようにする。カードなどの補助道具を使いながら視覚、または聴覚など本人が得意とすることを軸に把握できるようにする。 スモールステップを組んで、褒め方の工夫をする。カードなどの補助道具を使いながら視覚、または聴覚など本人が得意とすることを軸に把握できるようにする。 手を持つての直接補助から模倣、自力での作図へとスモールステップを組んで行う。同じ絵を塗る模倣から見本を見て、その後自力での塗り絵とスモールステップを組んで行う。 手を持つての直接補助から模倣、自力での運筆へとスモールステップを組んで行う。絵カード、文字、言葉とスモールステップを組んで進め、褒め方の工夫をする。 具体的な言葉や数唱など待つ行動を具体的に分かり易く伝え、褒め方を工夫することで、止まることの意味を体得することを支援する。 具体的に分かり易く伝え、褒め方を工夫することで、ルールの意味を体得することを支援する。具体的に分かり易く伝え、褒め方を工夫する。特性に合わせた方法で伝え、褒め方を工夫する。	
	言語 コミュニケーション	直接補助からスモールステップを踏み、自分で言えるように支援する。想起のタイミングの取り方を伝え、徐々に時間経過後にも想起できるようにしていく。 楽しかった感情、事柄を素直に言葉にできるようにスモールステップを組む。言葉から徐々に文章で伝えられるよう、補助をしつつ伝える練習をする。 文の長さ、内容を調節しながら、徐々に意識的に復唱ができるようにする。返答の仕方を具体的に伝え復唱することから、徐々に自分で返答できるように支援をする。 カレンダーを使っての日の感覚把握から、今日という1日の流れ、昨日、明日という時間軸での話ができるようにする。 カードを使って状況説明の復唱をすることから、徐々に一人で状況説明ができるように支援をする。指、文字を使って自分で何が抜けているかを気が付けるようにしていく。	
	人間関係 社会性	直接補助からスモールステップを踏み、自分で言えるように支援する。具体的な返答の仕方の模倣から、スモールステップで自分で言えるように支援する。 ルールの理解、具体的な行動練習、肯定的評価での行動の定着を図る。1対1の練習から、集団で始めは完全に横について補助をし、徐々に距離を取って一人で入れるように援助をしていく。 正面での指示理解、横を向いての指示理解、集団に自分が含まれる意識の持ち方とスモールステップを組む。協力をすることへの理解から、具体的な行動へと理解をあげる補助をする。 コミック会話を利用し、相手の思いと自分の思いの違いを理解することを助ける。コミック会話、アサーションの伝え方練習から、相手への伝え方の習得を支援する。 正しい行動を素直に受け入れられるよう、特性にあった方法（認知行動療法など）で理解を促す。行動変容を自ら考えてもらい、実行するための手段を一緒に考えていく。また評価表で支援をする。 公共の場で自分の感情を制御するための方法を一緒に考え、実行できるように評価表で支援をする。	
家族支援	△▽による声掛けの仕方やトークンの使い方などを伝える。 行動療法の方法を伝える。学校との連携の仕方、子どもへの言い方などを伝えていく。 本人の意思決定の場面を増やすための声掛けの仕方などを伝える。 タイムアウトを使うこと、先に予告をすることなど具体的な支援を一緒に考えていく。 コミック会話などの方法を伝え、子どもが自分で考える方向での関わり方を伝える。 家庭の構造化などの相談にのる。計画表の作り方、目標の作り方の具体策を一緒に検討する。アンガーマネジメントを伝えていく。	移行支援	必要に応じて園を訪問し、普段の生活の中での配所の仕方、対応を伝える。 必要に応じて園を訪問し、普段と異なる行事などの活動の際には児童がスムーズに動けるよう配慮の仕方を伝える。
地域支援・地域連携	指定児童発達支援、指定放課後等デイサービスの実施に当たっては、地域との結び付きを重視し、利用者の所在する市町村、他の指定障害児通所支援事業者、指定障害児相談支援事業者、指定特定相談支援事業者、指定障害児入所施設その他福祉サービス又は保健医療サービスを提供する者との密接な連携に努めるものとする。	職員の質の向上	定期的に講習、指導を行っている。
主な行事等			